

## 総括研究報告書

1. 研究開発課題名： 脳卒中を含む循環器病対策の評価指標の開発に関する研究
2. 研究開発代表者： 飯原 弘二（九州大学大学院医学研究院脳神経外科 教授）
3. 研究開発の成果

1) 我が国の診療実態に適合し、かつ国際比較が可能な、脳卒中を含む循環器疾患の医療の質を的確に計測しうるQIの開発

脳卒中におけるQIに関する国内外の論文のシステマティック・レビューを行った。具体的には、脳卒中に関するQIについての文献をPubMed で検索し、選択された440本からtitle searchにより209本に絞込んだ。さらに独立した3人の研究者によりabstractの内容から177本を選択し、構造化抄録の作成を行っている。また本邦における脳卒中診療ガイドラインにて推奨レベルの高いものを挙げ、米国AHA/ASAおよび欧州ESOの脳卒中ガイドラインと比較することで、本邦においてより診療実態に適合したQIとなりうる項目を検討した。

また循環器疾患に関しても、日本循環器学会で、具体的なQI策定に向けて検討を行っている。

2) 策定したQIに基づく適切なベンチマーキングの手法の開発

QIに基づく適切なベンチマーキング研究を、PubMed/Medline、医中誌Web、The Cochrane Library等、JCAHO (Joint Commission on Accreditation of Healthcare Organizations) , CMS (Centers for Medicare and Medicaid Services) などの公的な外部評価機構ホームページから抽出し、ベンチマーキングの手法につき、QIの選定、プロセスの定義、比較相手、データ源、データの収集、ギャップの確定、プロセスの差異、将来の目標パフォーマンスの決定、目標の調整、実施、コストなどについて検討を行った。

3) 未整備な回復期リハビリテーションや維持期の介護・廃用症候群防止等の標準的治療の確立に資するQIの策定

急性期病院に加えて、回復期リハビリテーションや維持期の標準的医療の確立に向けて、日本リハビリテーション医学会と連携し、研修施設を対象として、QIの策定、評価に関する調査を行った。

4. その他